

予算説明資料

令和 7 年度 3 月追加補正予算

倉吉市

目次

1	会計別一覧表.....	3
2	基金の状況.....	4
3	事業説明.....	5

令和7年度 3月追加補正予算 会計別一覧表

(単位：千円)

区 分	補正前の額	補正額	計
一 般 会 計	34,497,924	291,269	34,789,193
特 別 会 計 小 計	11,381,993	0	11,381,993
企 業 会 計 小 計	6,438,321	0	6,438,321
合 計	52,318,238	291,269	52,609,507

基金の状況【令和7年度3月追加補正】

(単位：千円)

区 分	令和6年度末 現在高 A	令和7年度		令和7年度末 見込額 A+B-C	補正時における 増減
		積立見込額 B	取崩見込額 C		
文化基金	3,446	3		3,449	
博物館資料整備基金	4,423	3		4,426	
緑を守り育てる基金	19,829	9	1,548	18,290	
職員退職手当基金	245,244	733	100,000	145,977	
公共施設等建設基金	27,317	61		27,378	
教育振興基金	177,771	576	1,288	177,059	
ふるさと農村活性化基金	17,978	7		17,985	
若者の定住化促進基金	470,181	413	68,200	402,394	
遙かなまち倉吉ふるさと基金	1,634	2		1,636	
企業立地推進基金	11,664	18		11,682	
地域産業振興基金	27,370	21	6,000	21,391	
倉吉ふるさと未来づくり基金	771,855	845,353	953,708	663,500	
三松奨学育英基金	50,543	5,430	5,157	50,816	
森林環境整備基金	37,493	53,518	72,011	19,000	
財政調整基金	2,379,442	256,680	1,009,083	1,627,039	取崩148,698千円
減債基金	1,468,232	45,243	284,276	1,229,199	
計	5,714,422	1,208,070	2,501,271	4,421,221	

(単位：千円)

区 分	令和6年度末 現在高 A	令和7年度		令和7年度末 見込額 A+B-C	補正時における 増減
		積立見込額 B	取崩見込額 C		
国民健康保険財政調整基金	658,826	27,894	150,000	536,720	
介護保険財政調整基金	562,334	17,402	0	579,736	
公営企業等財政調整基金	40,715	15	1,559	39,171	
高城財産区財政調整基金	33,810	27	3,365	30,472	
土地開発基金	22,938	20	1,000	21,958	
計	1,318,623	45,358	155,924	1,208,057	

令和7年度3月追加補正予算 事業一覧 (千円)

会計	歳入 歳出	款	項	目	大 事 業	担当課	事業名	ページ	補正額	うち一般財源
一般	歳出	2	1	7	60	企画	地方創生推進事業	6	147,980	73,990
〃	〃	6	1	3	98	農林	農業産品高付加価値化推進事業	8	45,000	22,500
〃	〃	7	1	2	2	しごと	商工業振興（地域未来交付金事業）	10	26,753	16,440
〃	〃	7	1	2	38	しごと	中心市街地活性化推進事業（地域未来交付金事業）	12	7,536	3,768
〃	〃	7	1	3	37	観光	周遊滞在型観光地創造事業（地域未来交付金事業）	13	64,000	32,000

担当課	企画課	施策	26_市民と協働したまちづくりの推進				
事業期間	令和5年度～令和9年度		区分	-			
事業名	地方創生推進事業					予算説明書ページ	8
補正予算	会計 一般	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 7 企画費			
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
157,100	147,980		73,990				73,990
目的・意図							
<p>人口減少に歯止めをかけるため、官民連携及び都市部人材との交流を加速し、倉吉の魅力を生創・発信し、地域への愛着を育むとともに、地域課題の解決に向けて主体的に行動できる人材を育成し、まちの担い手を育て、若者の活気があふれる元気なまちを創出するもの。</p>							
経過・背景							
<p>人口減少・少子高齢化が加速する中、特に、社会減の大きい若年層に対する魅力的な雇用の確保や活気あるまちづくりが求められている。なお、国の地域未来交付金（地域未来推進型）を活用して実施する継続事業については、令和7年度中に審査・交付決定を行う方針が国から示されたため、令和7年度補正予算として計上する必要がある。</p>							
事業効果							
<p>都市部との関係人口が拡大することにより倉吉市の魅力が再発見され愛着が高まるとともに、中核人材による事業創発やこれに伴う雇用創出により、若年層にとって魅力あるまちとなり、若年人口の社会減の抑制が期待できる。</p>							
事業内容							
<p>【事業内容】 雇用創出と関係人口を拡大する「ひとを育て、まちを育てる、くらしよし倉吉プロジェクト」として、次の事業を実施する。</p> <p>【中核人材育成事業】 市内企業リーダー及び次世代の中核人材の発掘・育成を推進する。都市部参加者と地元参加者が倉吉を会場として自分のライフビジョンを探求したうえで、倉吉のまちの課題等について検討するワークショップを実施する。</p> <p>【関係人口創出事業・満足度調査】 デジタル技術を活用し、都市部住民との関係性の構築・継続を図り、関係人口を創出する。市民対象に満足度調査を実施し、プロジェクト開始前の数値と比較分析する。</p> <p>【まちの魅力発見事業】 地元では気づかない倉吉の魅力や地元の若者視点で深掘りした魅力などを整理し、地元及び都市部に発信する。</p> <p>【若者と地域がともに育つ、雇用創出・雇用対策プロジェクト】 地域企業の課題解決事業の提案や地域で起業できる人材を育てるためのプログラムを地元高校・大学と連携して実施する。デジタル技術を使って木材加工ができる機械（ショップボット）を使った商品開発を探究プログラムで実施する。</p>							
内訳							
<p>委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとを育て、まちを育てる、くらしよし倉吉推進事業委託料 145,065千円 (内訳) ・中核人材育成事業 54,000千円 ・関係人口創出事業・満足度調査 24,180千円 ・まちの魅力発見事業 26,000千円 ・若者と地域がともに育つ、雇用創出・雇用対策プロジェクト 40,885千円 <p>機械借上料 木材加工機借上料 2,915千円</p>							
特定財源							
<p>【国】 地域未来交付金（地域未来推進型） 73,990千円（対象経費の1/2）</p>							

全体事業費		(令和5年度～令和9年度までの事業費を計上、全体計画には令和5年度～令和6年度 の事業費を含む、今回補正額については令和8年度(繰越)へ計上)			
		全体計画	R7年度	R8年度	R9年度以降
	事業費	626,527	157,100	147,980	64,680
財 源 内 訳	国庫支出金	313,263	78,550	73,990	32,340
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	181,980	70,000	0	0
	一般財源	131,284	8,550	73,990	32,340

担当課	農林課	施策	01_農畜水産業の振興				
事業期間	令和7年度～令和9年度		区分	拡充			
事業名	農業産品高付加価値化推進事業				予算説明書ページ	8	
補正予算	会計一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
補正前	補正額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
	43,940	財源内訳	22,500				22,500
目的・意図							
<p>倉吉西瓜、梨、メロン等の農産物についてはJA各生産部において関東圏・関西圏でのPRを実施してきているが、今後、農産物について付加価値を向上していくために、PRや加工品開発およびマーケティングについて関係機関の共同のもとで推進していくもの。</p>							
経過・背景							
<p>倉吉極実西瓜はブランド化の取組が奏功し単価が徐々に上昇しているところであるが、梨、メロンなどをはじめとする倉吉産の農産物においては認知度の不足や単価上昇が課題となっており、現状の調査分析を行い、有効な対策を打っていく必要がある。また、農業従事者の平均年齢は年々上昇し、後継者の育成が急務となるなか、就農意欲のある都市部住民が移住して就農できる体制を整えるためのデータ整理の必要がある。</p> <p>なお、国の地域未来交付金（地域未来推進型）を活用して実施する継続事業については、令和7年度中に審査・交付決定を行う方針が国から示されたため、令和7年度補正予算として計上する必要がある。</p>							
事業効果							
<p>農産品のブランド認知度向上や国内市場での販売拡大、新規顧客の獲得が図られることで地域産業の強化と新たなビジネスチャンスが創出され、新規就農者および農業に関わる加工品業者の確保・育成が図られる。</p>							
事業内容							
<p>①都市部プロモーション会場設営委託 JA鳥取中央倉吉西瓜生産部と連携し、関西、関東の2カ所でPRイベントを実施。倉吉西瓜、梨等の農産物を農業者自身が都市部にてプロモーションを実施するとともに、合わせて倉吉の商材のサンプリング配布とヒアリング調査を行い次の注力商材選定に向けたデータ収集と分析を行うもの。 実施時期はスイカの初売りのタイミングに合わせる。</p> <p>②商品開発調査委託（農産品の高付加価値化、観光産品開発） 倉吉産農産物の単価上昇を図るため、一次産品だけでなく農産物加工品についても開発の方向性や生産状態の現状を把握し、今後の投資の精度を上げる取り組みを実施していく。 これまでも民間において加工品開発に取り組んできたところではあるが、ニーズや販路が多様化するなか、令和7年度に実施した農産品開拓結果を基に倉吉の農産品を一体的にPRしていくための戦略を作成する。</p>							
内訳							
<p>①都市部プロモーション会場設営委託料 25,000千円 会場 関西、関東(首都圏) 内容 都市部販売イベント実施、販促会、試食会 ・データ分析（イベントに合わせたサンプリング配布とヒアリング調査） ・次の注力商材選定に向けたデータ収集と分析を行うもの。</p> <p>②商品開発調査委託料 20,000千円 内容 農産品テキスト化・コンテンツ制作 （倉吉西瓜、梨等の倉吉産農産物3品の各種データ収集と、ワークショップ実施） 観光産品の企画開発（3品の加工商材企画作成、プロダクト開発） ブランディングPR（3品） →開発商材のプロモーションに向けたブランディング戦略を作成するもの。</p>							
特定財源							
【国】地域未来交付金（地域未来推進型） 22,500千円（対象経費の1/2）							

全体事業費		(令和7年度～令和9年度までの事業費を計上、今回補正額については令和8年度(繰越)へ計上)			
		全体計画	R7年度	R8年度	R9年度以降
	事業費	164,880	43,940	45,000	75,940
財 源 内 訳	国庫支出金	82,440	21,970	22,500	37,970
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	20,000	20,000	0	0
	一般財源	62,440	1,970	22,500	37,970

担 当 課	しごと定住促進課		施 策	02_企業が持つ特性・特色を活かした商工業の振興			
事 業 期 間	令和7年度～ 令和9年度			区 分	-		
事 業 名	商工業振興（地域未来交付金事業）					予算説明書ページ	8～9
補正予算	会計 一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
補正前	補正額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
	12,920	財源内訳	10,313				16,440
目的・意図							
<p>地方へのサテライトオフィス開設を検討する県外企業とWEB面談や現地視察ツアー、テレワーカー育成等を行うことで、本市への進出を促す。また、進出企業と地元事業者・市民との交流やマッチングを図ることで、新たな事業やサービスの創出に繋がる取り組みを支援し、進出企業の地元定着や自走化、地域課題の解決等を目指す。</p>							
経過・背景							
<p>市内企業においては製造業を中心に人材確保に苦慮している状況を確認する一方で、全12種の職業の内「管理・事務的職業」が唯一求職者数が求人数を上回っており、特に若者や女性といった事務職への就職を希望する人材に対して、雇用の受け皿が少なく、人口流出につながっていることから、若い世代の希望する職種と働く場を確保することが求められている。</p> <p>なお、国の地域未来交付金（地域未来推進型）を活用して実施する継続事業については、令和7年度中に審査・交付決定を行う方針が国から示されたため、令和7年度補正予算として計上する必要がある。</p>							
事業効果							
<p>若者の県外流出防止・IJUターン促進、若者や女性、子育て世代等が在宅で仕事ができる環境の提供、IT系企業からニーズが多い専門性の高い人材の育成、及び地元企業や高校生がITを体験できる機会の創出、市内企業との協力・連携により地域活性化が図られる。</p>							
事業内容							
<p>①サテライトオフィス誘致事業 若い世代の希望する職種と働く場の確保、及び子育て世代等が在宅で仕事ができる環境の提供を目指し、主に事務・企画・デザイン・IT系企業のサテライトオフィスを誘致する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォームマーケティング（約9,000社） ・オンライン相談会 ・2泊3日視察ツアー（5社）（2回） ・進出企業交流会 ・テレワーク入門セミナー ・テレワーカー育成講座（基礎編、実践編、パワーポイント編、生成AI編） ・進出企業相談、ビジネスマッチング促進（地域おこし協力隊1名） <p>②プログラミング講座及びデジタル体験推進 誘致の促進と進出企業のPR、定着を図るため、IT系企業からのニーズが多い専門性の高い人材の育成及び地元企業や高校生がITを体験できる機会を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング講座（全24回程度、予定定員3名） ・デジタル体験会の開催（地元企業や高校生を対象とした体験イベント） 							
内訳							
<p>①サテライトオフィス誘致事業 21,433千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料 16,647千円 サテライトオフィス誘致業務委託料 16,647千円 ・人件費（報酬、職員手当等、共済費、旅費（通勤手当））3,046千円（地域おこし協力隊1名分） ・事務費（需用費、役務費、使用料及び賃借料）1,020千円（地域おこし協力隊1名分） ・負担金補助及び交付金 720千円（地域おこし協力隊1名分） 地域おこし協力隊家賃補助金 720千円（補助率10/10 上限60千円/月） <p>②プログラミング講座及びデジタル体験推進 5,320千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料 5,320千円 中小企業DX推進業務委託料（プログラミング講座） 1,320千円 デジタルコンテンツ作成業務委託料（デジタル体験推進） 4,000千円 							
特定財源							
【国】地域未来交付金（地域未来推進型） 10,313千円（対象経費の1/2）							

全体事業費		(令和7年度～令和9年度までの事業費を計上、今回補正額については令和8年度(繰越)へ計上)			
		全体計画	R7年度	R8年度	R9年度以降
	事業費	64,369	12,920	26,753	24,696
	国庫支出金	26,728	6,460	10,313	9,955
財源内訳	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	6,000	6,000	0	0
	一般財源	31,641	460	16,440	14,741

担当課	しごと定住促進課		施策	02_企業が持つ特性・特色を活かした商工業の振興			
事業期間	令和7年度～令和9年度			区分	-		
事業名	中心市街地活性化推進事業（地域未来交付金事業）					予算説明書ページ	9
補正予算	会計 一般	款 7 商工費	項 1 商工費	目 2 商工業振興費			
補正前	補正額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
	73,231	7,536	3,768				3,768
目的・意図							
くらしごとBASEを拠点に、空き家・空き店舗の利活用促進や県外企業のサテライトオフィス進出促進による定住人口の増加やまちの活性化を目指す。							
経過・背景							
<p>空き家・空き店舗が減少しない中、誰もが安心して相談から問題解決まで伴走支援が受けられる体制づくりが必要となっている。また、若者や女性といった事務職への就職を希望する人材に対して、希望する職種と働く場を確保することが求められている。</p> <p>なお、国の地域未来交付金（地域未来推進型）を活用して実施する継続事業については、令和7年度中に審査・交付決定を行う方針が国から示されたため、令和7年度補正予算として計上する必要がある。</p>							
事業効果							
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家・空き店舗の利活用が促進されることで、移住者の住宅確保、新規創業者の増加、若者や女性の働く場の確保が期待できる。 ・県外企業のサテライトオフィスが立地することで、これまで無かった業種の雇用が生まれ、若者や子育て世代の女性の定住人口の増加が期待できる。 							
事業内容							
<p>○空き家活用センター・サテライトオフィス運営 倉吉商工会議所と連携し、倉吉市空き家活用しごと創造センター（くらしごとBASE）の運営を行う。</p> <p>【空き家活用センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民から寄せられる空き家に関する相談にワンストップで対応 ・空き家に関する専門家と連携し、相談者に対して伴走支援を行う <p>【サテライトオフィス・コワーキングスペース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人登記が可能なコワーキングスペース・シェアオフィスの運営を行う 							
内訳							
<p>○空き家活用センター・サテライトオフィス運営 7,536千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料 6,678千円 空き家活用センター・サテライトオフィス運営委託料 6,678千円 ・使用料及び賃借料 858千円 旧島根銀行倉吉支店建物借上料 858千円 							
特定財源							
【国】地域未来交付金（地域未来推進型） 3,768千円（対象経費の1/2）							
全体事業費（令和7年度～令和9年度までの事業費を計上、今回補正額については令和8年度（繰越）へ計上）							
		全体計画	R7年度	R8年度	R9年度以降		
	事業費	86,767	73,231	7,536	6,000		
財源内訳	国庫支出金	43,383	36,615	3,768	3,000		
	県支出金	0	0	0	0		
	地方債	21,000	21,000	0	0		
	その他	13,000	13,000	0	0		
	一般財源	9,384	2,616	3,768	3,000		

担当課	観光交流課		施策	05_地域資源を活かした観光の振興			
事業期間	令和7年度～令和9年度			区分	拡充		
事業名	周遊滞在型観光地創造事業（地域未来交付金事業）					予算説明書ページ	9
補正予算	会計一般	款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
補正前	補正額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
47,000	64,000		32,000				32,000
目的・意図							
旅行予約サイト等を活用した販路開発や人材育成を進めるとともに、ツアー造成から運営・販売までを一貫して行える体制の構築を図り、持続可能な「稼ぐ地域」の実現を目指す。							
経過・背景							
<p>倉吉の魅力として歴史や文化、工芸品など国内外で通用するものが多くあるが、国内外での認知度が低く、倉吉ならではの観光資源を活用した商材開発やプロモーションが積極的に行われていないことが課題となっている。</p> <p>販路調査、ツアー開発、商材高付加価値化に向けた調査とテストマーケティングを実施し、ターゲット層に合わせたコンテンツづくりやツアープランの開発を行ったところだが、更なる商品ラインアップの拡充、それらを地元で運営できるようガイド育成・受け入れ態勢の構築が必要である。</p> <p>なお、国の地域未来交付金（地域未来推進型）を活用して実施する継続事業については、令和7年度中に審査・交付決定を行う方針が国から示されたため、令和7年度補正予算として計上する必要がある。</p>							
事業効果							
<ul style="list-style-type: none"> 運営体制の地域実装（自走化） 地元ガイドや事業者が主体となって安定的にツアープランを運営できる体制の確立 高付加価値化と販路確立 高付加価値観光ツアーの造成、国内外からの観光誘客の促進 鍛冶・刀剣等の歴史文化を深掘りした高単価商品の開発、海外向け販路の開拓 							
事業内容							
<p>①海外販路の開拓 海外市場調査、流通・販売ルート調査、旅行予約サイト上でのテストマーケティング・販促運用 招へい事業の実施</p> <p>②地域の食/体験/工芸品等のツアー開発、体制整備 ツアーコンセプト設計と企画、現地調査と受入環境検証（モニターツアー） ガイド育成及び運営体制の構築</p> <p>③高付加価値商材の開発 現地の深堀・調査、商材試作品の作成、テストマーケティング、メディア向け発信</p>							
内訳							
<p>委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> 「稼ぐ地域」を目指す観光地魅力創造事業委託料 64,000千円 内容・海外販路調査開発（海外市場3ヶ所のマーケティング調査） ・地域の食ツアー開発・地域体験ツアー開発・工芸品ツアー開発・体制整備 ・高付加価値商材開発（歴史文化の深堀、鍛冶、刀剣文化） 							
特定財源							
【国】地域未来交付金（地域未来推進型） 32,000千円（対象経費の1/2）							
全体事業費（令和7年度～令和9年度までの事業費を計上、今回補正額については令和8年度（繰越）へ計上）							
財源内訳		全体計画	R7年度	R8年度	R9年度以降		
	事業費	151,000	47,000	64,000	40,000		
	国庫支出金	75,500	23,500	32,000	20,000		
	県支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	その他	23,000	23,000	0	0		
一般財源	52,500	500	32,000	20,000			